

～企画展「くんくんかずんでん～におい図鑑～」～

県立博物館

においをかずむ(かぐ)企画展

令和3年7月10日(土)から11月28日(日)まで博物館本館1階企画展示室で「くんくんかずんでん～におい図鑑～」を開催しています。



【企画展ポスター(表)】



【企画展ポスター(裏)】

トーク後には、フィンランドの缶詰「シュールストレミング」や伊豆の干物「くさや」などのおいを体験するコーナーを設けます。普段はなかなかかかれない刺激的なおいとのおいも楽しみください。さらに7月25日(日)には、夏のマスク生活を快適にする「香りのマスクスプレー」の製作を体験するワークショップを実施します。

「かずんでん」とは、鹿児島弁でにおいを「かいでみて。」というお誘いの表現です。鉱物や化石燃料、動植物の中には、悪臭や刺激臭、心地よい香りなど様々なにおいを発するものが存在しています。今回の企画展では、においの正体やその役割、作用などについて知ることができます。

展示では、地質、植物、脊椎動物、無脊椎動物、天文、世界の「食」の各分野から、においに関わる解説をパネルで紹介するとともに、20種類前後のにおいを展示します。

また、企画展開催期間中には、学芸主事による15分間程度のミュージアムトーク(展示解説)を行います。

どんなにおいに出会えるの?

それでは展示の一部を紹介しましょう。県北部の標高の高い山地に自生する「ミズメ」は、樹皮を傷付けると湿布薬のにおいがします。



【湿布薬のにおい・ミズメ】

企画展では、この清涼感のある香りに、しばし蒸し暑さを忘れることができるかもしれません。また、動物たちの落とし物にも注目します。平川動物公園の協力で、動物の「ふん」を展示します。草食性や肉食性など、動物は食べ物により排泄するふんのにおいにも特徴があります。それらのにおいとあわせて、人を含めた動物たちの食べ物との関わりについても学んでいただけたらと思います。

最後に、博物館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、入館時の検温、手指の消毒、楽しい実験、科学教室、天文教室、企画展ワークショップ等での利用者カードの記入をお願いしています。



【ユーカリの葉を食べるコアラ】

あわせて、今回の企画展ではマスクをとらず、密をさけ、順路を守ってにおいをかぐ等のお願いをしております。皆様の御理解、御協力を重ねてお願いします。

また、企画展開催期間の途中で、外壁工事による休館を予定しています。今後の詳しい日程が決まりましたら、ホームページ等で随時お知らせしますので、お出かけの際は、事前に御確認ください。